

武蔵ヶ丘フライド

R3.4.22
文責:中尾

第2号

「新たな生活様式・新たな校風づくり」 令和3年度も「黄金週間」からスタート!

引き続きコロナ禍の中で令和3年度がスタートしました。武蔵ヶ丘中学校では、新年度最初の三日間を「黄金の三日間」と言います。そして、ちよつと欲張ってその三日を含む一週間を「黄金の一週間」と呼ぶことにしています。

「黄金の…」という表現には、年度が改まるこの時期に、①「新鮮な自分」を大切にして欲しい。②流して忘れてしまふべき過去と、決して忘れてはならず踏みしめておくべき過去とをきちんと整理して欲しい。③「他者とながら」とは、良さに向かってつながることであり、過去の過ちを持ち出したり、悪口を言い合うことは絶対にしてはならない、その関係はつながるとは言わない。新しい学級での自己紹介、担任の第一声、いずれも緊張の中で自分のことを語る最初の場面です。その緊張感や互いのドキドキを感じ合い、寄り添い、大切にして欲しい。…との願いを込めています。

各学級では、自己紹介を終え、委員会や学級の係決めなど、慌ただしく一週間が過ぎていききました。また、「全校学活」をリモートで行い、挨拶や礼法の確認、学校生活の決まりやさまざまな約束事について共通理解を図りました。

また、十四日(水)には、五年前の熊本地震でお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りして黙祷を捧げ、その後、避難訓練を行い、災害時の避難経路の確認と心構えについて共有しました。慌ただしく過ぎた一週間でしたが、生徒の新鮮さと緊張感がよく感じられる日々でした。

R3校長OJT①

本年度の重点努力事項

- 【一人一人に学力を保障する】
 - 学習の基盤づくり
 - 授業改善・校内研の充実
 - 「学習会」の充実
- 【豊かで優しい心と絆を育む】
 - 多様性を理解し協働する集団づくり
 - いじめのない学校づくり
 - 夢・目標に向かって学びを支え合う
 - 腰がいの正しい理解と交流
- 【社会的自己指導力を育む】
 - 規範意識の確立
 - 生徒の自治活動を基盤とした集団の秩序と運営づくり
- 【健やかで逞しい心身を育む】
 - 防災、感染症に対する科学的理解と行動様式の確立
 - 食育、命を大切にすること
 - 体育的行事と部活動の充実

【学校教育目標】

「多様な他者を理解し、
協働して反差別のくらしをつくる人間として育ち合う」
～人間関係の良好な集団づくりをすべての教育活動の根幹に据えて～

【育成を目指す資質・能力】

- 主体的に学び、また学び合う力
- 多様な他者を理解し、つながる力
- 自らを律し、他者と協働して課題を解決する力

目指す学校像

- 明るい挨拶と笑顔のあふれる学校
- 一人一人が大切にされ、向上する学校
- 地域に信頼され、地域とともにある学校

目指す生徒像

- 心を磨き、優しい生徒
- 自らを鍛え、たくましい生徒
- 自ら学び、生かす生徒
- 協働して校風を創る生徒

目指す教職員像

- 生徒を理解し、心の声を聴く教職員
- 使命感に燃え、自ら学び変わる教職員
- 協働を重んじ、多様な人とながら

〈 校 訓 〉 克己 創造 礼節

令和3年度
菊陽町立武蔵ヶ丘中学校
グランドデザイン

- ※熊本県教育大綱
- ※熊本夢への架け橋教育プラン
- ※熊本の子び推進プラン
- ◆菊池教育事務所重点取組事項
- ◎菊陽町「教育理念」
～前途洋々 陽光「さん」と輝く人材を育む～
- ◎菊陽町学校教育努力目標

【学校運営協議会・CS】

- 郷土に誇りと愛着をもつ体験活動
- 防災に関する学びとボランティア活動の充実
- キャリア教育の推進と連携充実

お知らせ

本年度の体育大会は、勝手ですが予定を変更して五月十六日(日)の開催を計画しております。感染症の状況が好転すれば、学年毎に時間帯を区切って、保護者の皆様にも参観いただくことを検討しております。詳しくは、改めてご連絡します。まずは、感染症の拡大防止に地域をあげて「オール武蔵ヶ丘」で取り組んでいきましょう。

上に示しましたものは、本年度の学校経営のグランドデザインの一部分です。学校教育目標は、前年度の「多様な他者を理解し、協働して反差別のくらしをつくる生徒を育てる」から、文末の表現を変更し、「生徒も私たち教職員も一人の人間として、さらに学び合っていく」との思いを込めています。ご存じのように、本校には中国をはじめ、さまざまな国にルーツを持つ生徒が多数在籍しています。日本語・英語・中国語による「三カ国語放送」に日常的に取り組んでおり、職員室や生徒会室、保健室や校長室などの案内表示も三カ国語で表記しています。生徒は、この「三カ国語放送」などの取組を本校の誇り・良いところと考えてくれているようです。

引き続きコロナ禍での生活、予測が困難なほど加速度的に進展する社会、一人一台タブレット時代の到来など、私たちが中学生の頃の予測を遙かに超えて社会が変化しています。困難さもある生活の中にはありますが、一人一人の生徒が何を学び、どのような夢・目標の実現を目指して育ち合い、やがて社会に参画していくのか、ワクワクします。

保護者・地域の皆様におかれましては、これまでと変わらず本校教育活動に對しまして、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。お世話になります。